

福祉を世の光に

～私たちのまちは、もっとやさしくなれる～

平成29年2月4日

日向市「共に生きる福祉のまちづくり推進大会」

明石市長 泉 房穂

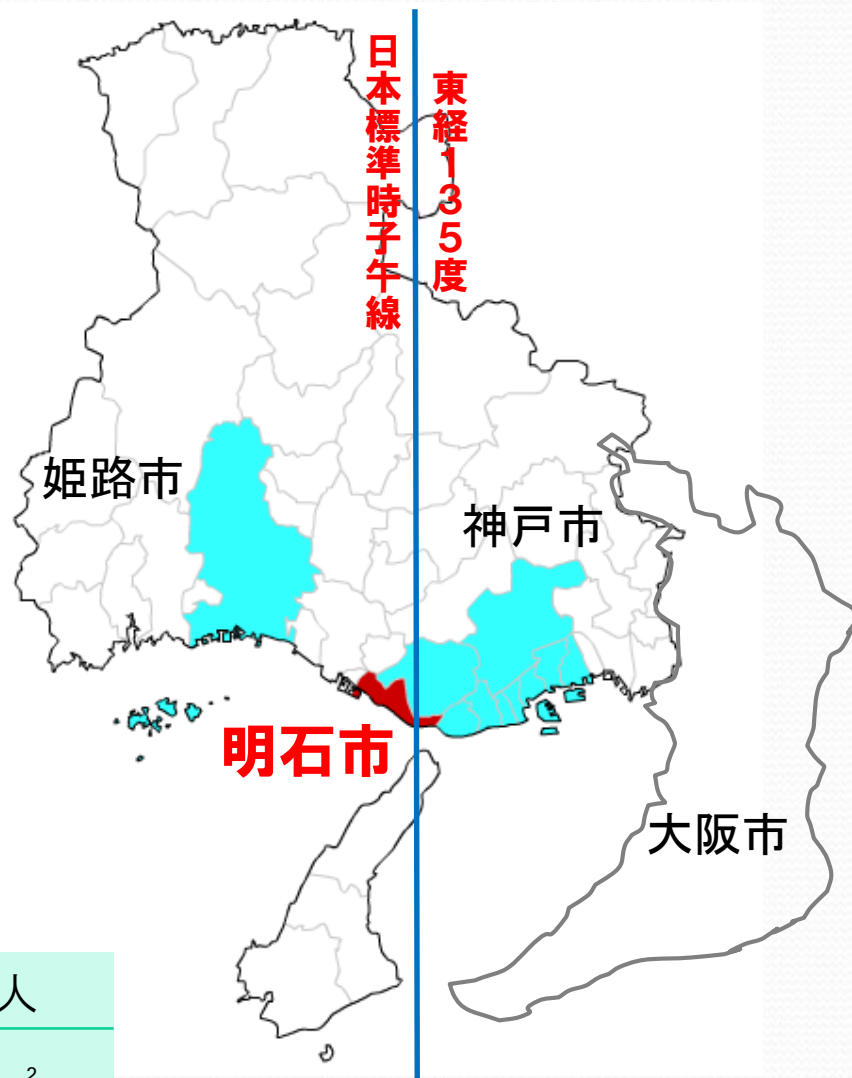
弁護士・社会福祉士

はじめまして！

明石市長 泉 房穂(いずみ ふさほ)

- 1963年 明石市生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長（現在2期目）
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

明石市のご紹介



人口 約 29万人

面積 約 49 km²

市長としての思い

- ①障害者が暮らしやすい社会をつくる
のは行政の責任
- ②できることを見つけて、実際に始める
- ③福祉の充実をまちの発展につなげる

①障害者が暮らしやすい社会を
作るのは行政の責任

なくてはならない施策をするのは誰の責任？

 障害者の自己責任

 行政の責任...国だけではなく市



責任者は市長

②できることを見つけて、実際に始める

(1) 条例 ①手話言語・障害者コミュニケーション条例
 ②明石市障害者配慮条例

(2) 予算 公的助成制度

(3) ひと ①障害当事者の採用
 ②専門職の採用

誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた4つのSTEP



誰もが
暮らしやすいまちへ

ステップ° 4 合理的配慮への公的助成

ステップ° 3 障害者差別解消条例の制定

ステップ° 2 多様なコミュニケーションの促進

ステップ° 1 手話言語の確立



明石市手話言語・障害者コミュニケーション条例

手話言語
条例

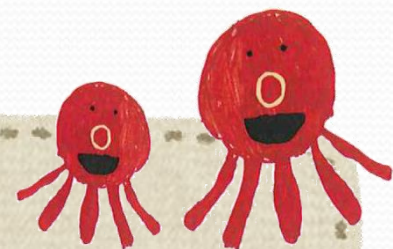


情報
コミュニケーション
条例

明石市の



手話言語・障害者
コミュニケーション条例



手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

1

手話を言語として認める

手話言語

- 手話が独自の言語であることを認めます。
- その上で、手話と手話への理解を広めていきます。



手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

2

いろいろな コミュニケーションの支援

情報
コミュニケーション

- コミュニケーション手段を
 選べるようにしていきます。
 （手話や要約筆記、点字、音訳など）
- 手話通訳者・要約筆記者・点訳者・
 音訳者などを育てて増やしていきます。



「明石市障害者配慮条例」

障害者に対する配慮を促進し誰もが
安心して暮らせる共生のまちづくり条例

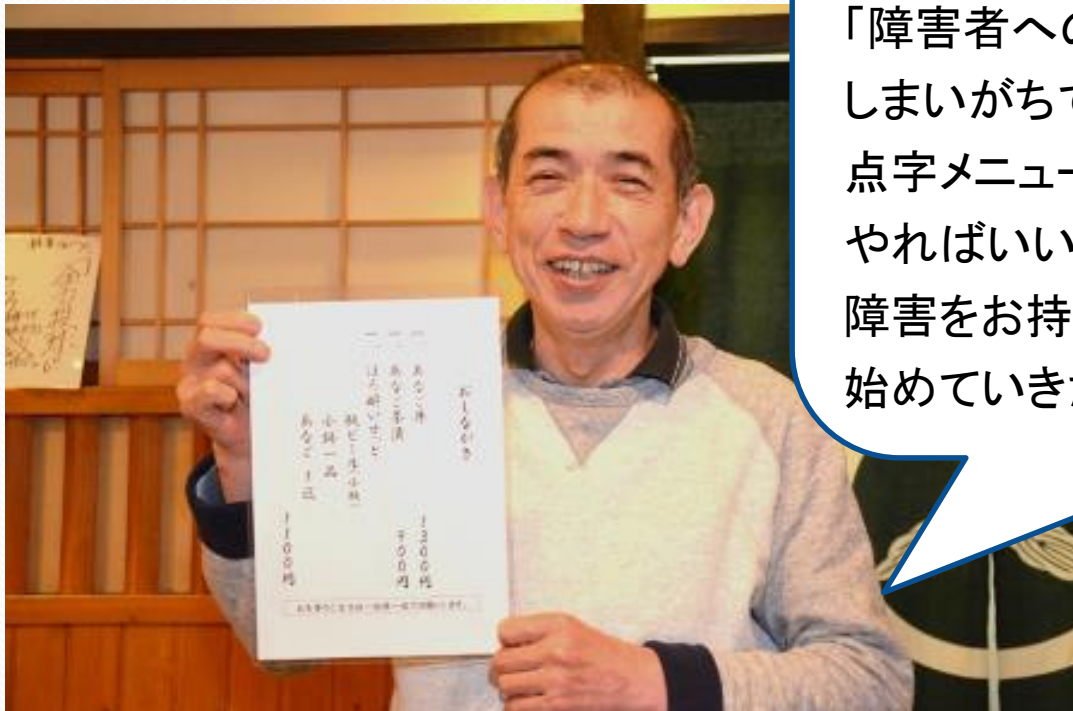


障害者差別解消法に合わせて
平成28年4月1日スタートしました
特徴は「合理的配慮の促進」

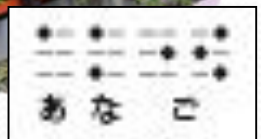


明石のまちが変わります

去年参加した条例検討会で、視覚障害のある人の声を直接聞くことができました。「障害者への配慮」と聞くと難しいことと考えてしまいがちですが、例えば点字が読める人に点字メニューを用意するなど、できることをやればいいと気づきました。これからは、他の障害をお持ちの方に対しても、できる配慮から始めていきたいと思えます。



株式会社 林喜商店 代表取締役社長 林 祝雄さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

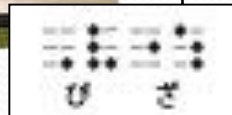


明石のまちが変わります

イタリアンレストランで、
点字メニューと筆談ボードを
導入しました。こういう取り組みが
増え、認知されていけばよいと
考えています。“食”を通して
人にやさしいまちになるよう、
飲食関係の輪を広げていきたい
ですね。



株式会社 キャッスルホテル料飲事業部 部長
東野 篤也さんとスタッフのみなさん
(筆談ボードと点字メニューを導入)



明石のまちが変わります



●● ●● ●●
●● ●● ●●
●● ●● ●●
けーき

くるみや本店
入口に折りたたみ式スロープを設置して
車イスもベビーカーも入りやすくなりました。
(筆談ボード・点字メニュー・
折りたたみ式スロープを導入)



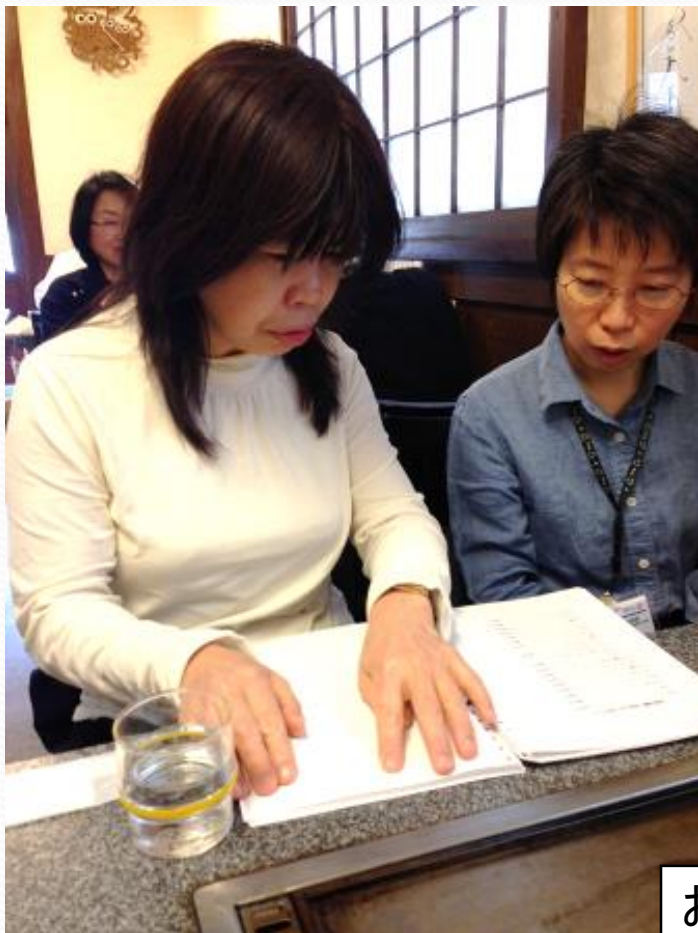
明石のまちが変わります

以前から店には中国語や英語などの外国語メニューを置いていました。このたび、店に点字メニューの導入をすすめています。障害のある人もない人もおいしい物を同じように食べられるのは当たり前のことだと思います。



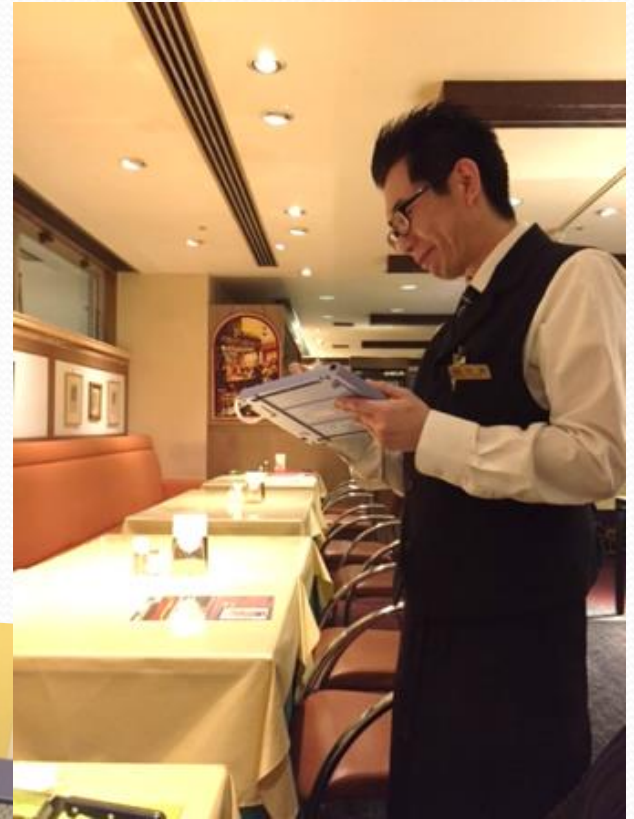
都きしめん
明石飲食業組合 組合長 宮内 正次さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

明石のまちが変わります

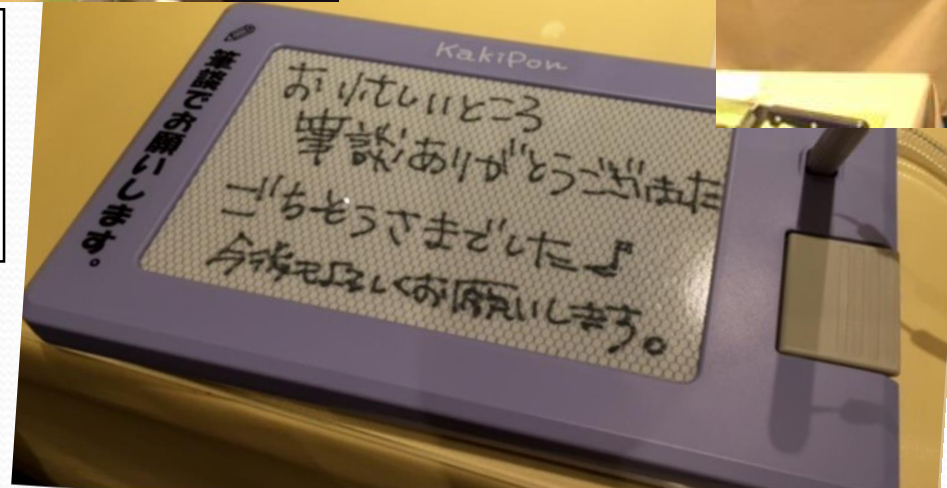


お好み焼き屋で点字メニューを読む
視覚障害者

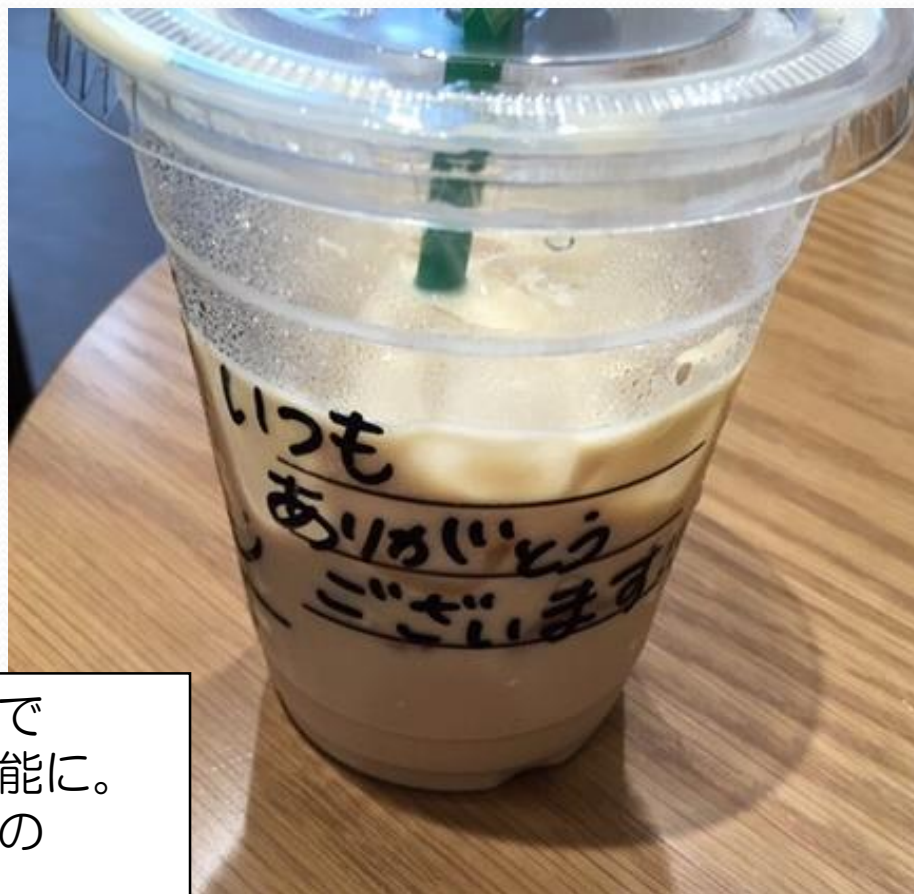
明石のまちが変わります



イタリアンレストランで
筆談ボードを利用して
料理の説明を受ける
聴覚障害者



明石のまちが変わります



ろう者もスターバックスで
カスタマイズの注文が可能に。
スタバのスタッフが手話の
勉強を始めてくれました。

ホームドアの取り組み ～まちが一丸となって～

- 平成28年9月 明石市視覚障害者福祉協会からの請願を
市議会全会一致で採択
明石市障害者当事者団体連絡協議会から
明石市への要望書提出
- 10月 市に公共交通安全対策担当を配置
明石市議会、市から国土交通大臣に
要望書を提出
- 12月 市議会、市、商工会議所からJR西日本に
要望書と障害者団体の署名を提出

ホームドアの取り組み ~まちが一丸となって~

新 戸 新 報 2016年(平成28年)12月28日 水曜日

目標超す1万1308人の署名 市民の後押しに感謝

JR明石駅などにホームドアの早期設置を求め、JR西日本に27日渡された1万1308人分の署名。提出した明石市障害者当事者等団体連絡協議会の松本幸雄代表(右)は「目標の5千人分を大きく上回った。市民の大きな後押しに感謝したい」と話した。

(社会面参照)

駅のホームドア

同協議会は11月6日、同駅周辺で署名活動を開始。各障害者関係団体も個別に活動し、目標を大きく上回る署名を集めた。署名では、ホームドア設置完了までは、駅員に乗車までの安全な誘導や放送なども求めている。

この日は、同市視覚障害者福祉協会の浅生

晴彦会長(64)らがJR西本社(大阪市)を訪問。同様の要望書を提出した泉房穂市長、深山昌明市議会議長、平岡勝功明石商工会議所会頭らも同席した。

出席者はJR明石駅について、死亡事故の発生や視覚障害者の利用の多き、貨物列車の通過などの危険性を指摘。泉市長は、整備費など相応の負担を行う考えを示した上で、「市制100年を迎える2019年度までの整備」を要望した。市によると、JR側は「できるだけ速やかに実現するため、明石市の担当者と調整したい」と前向きな姿勢をみせた。一方で、昇降式の

ホーム柵など具体的な整備方式や時期については言及しなかった。

松本代表は「熱心に話を聞いてもらった。危険性は認識してくれているので期待したい」。浅生会長は「署名の箱はどれも重かった。重みが何よりの説



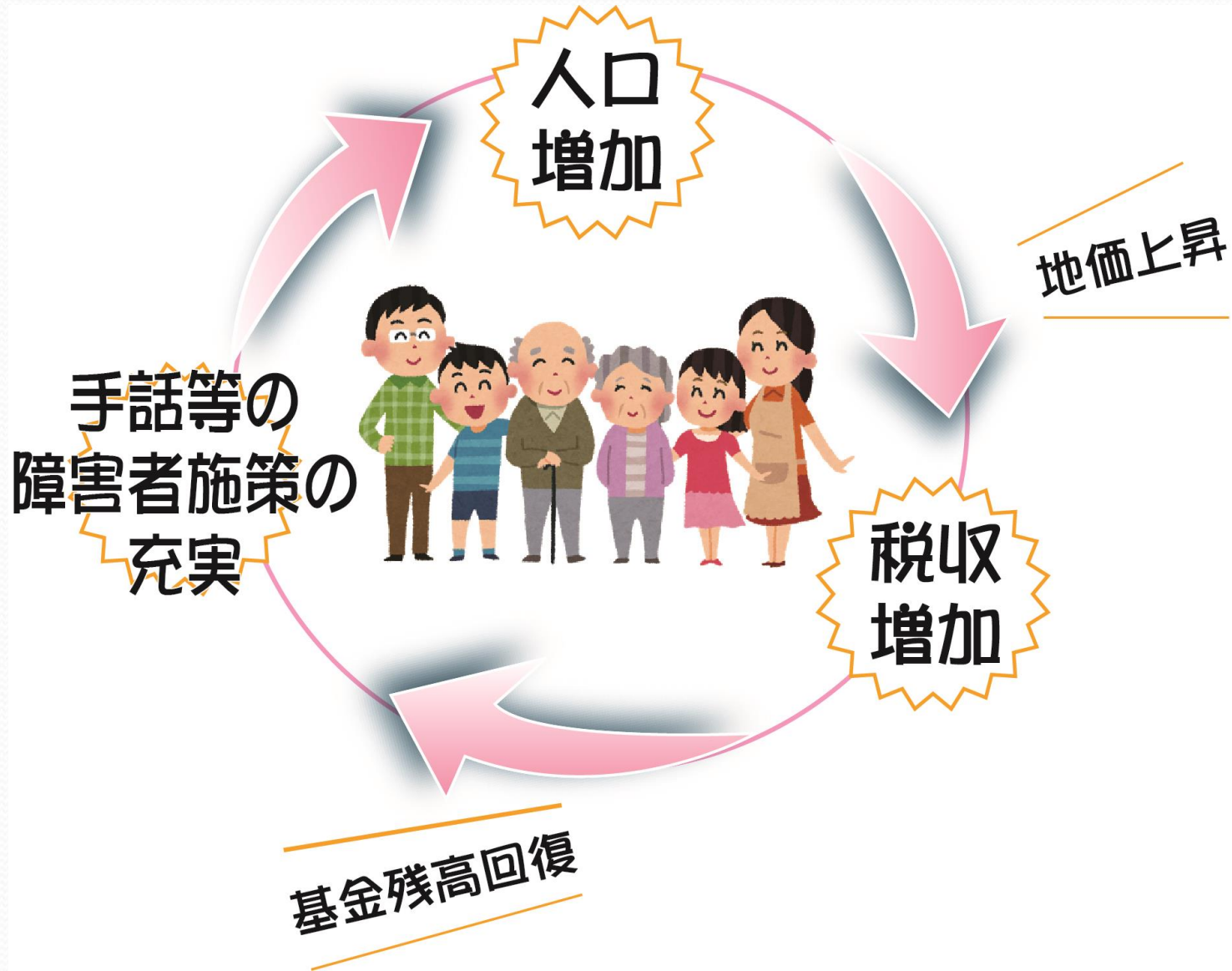
署名を手にも明石市役所を出発する松本幸雄代表(右端)と浅生晴彦会長(右から3人目)ら。いずれも中崎1



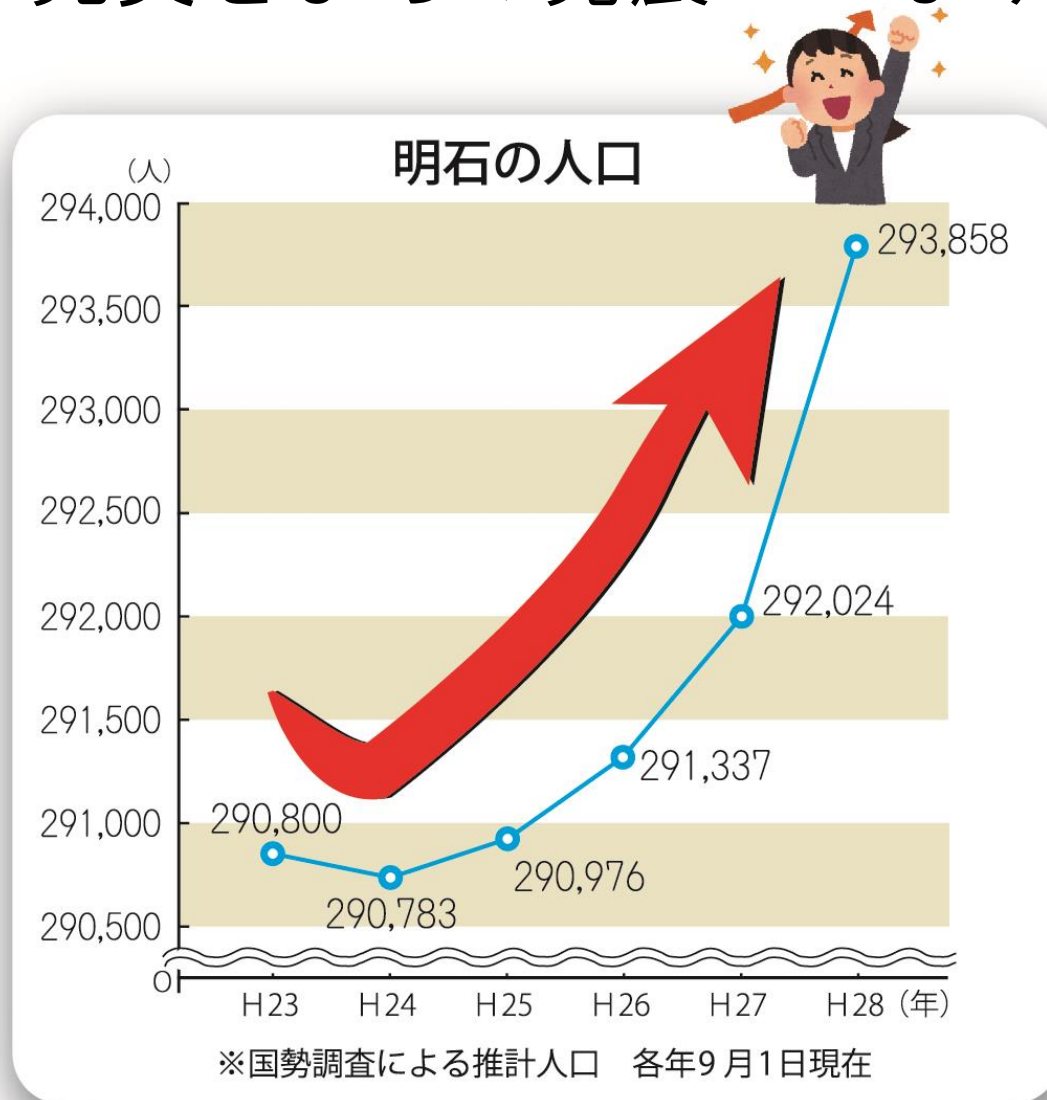
JR西日本に提出した1万1308人分の署名

得力になると話していた。(藤井伸哉)

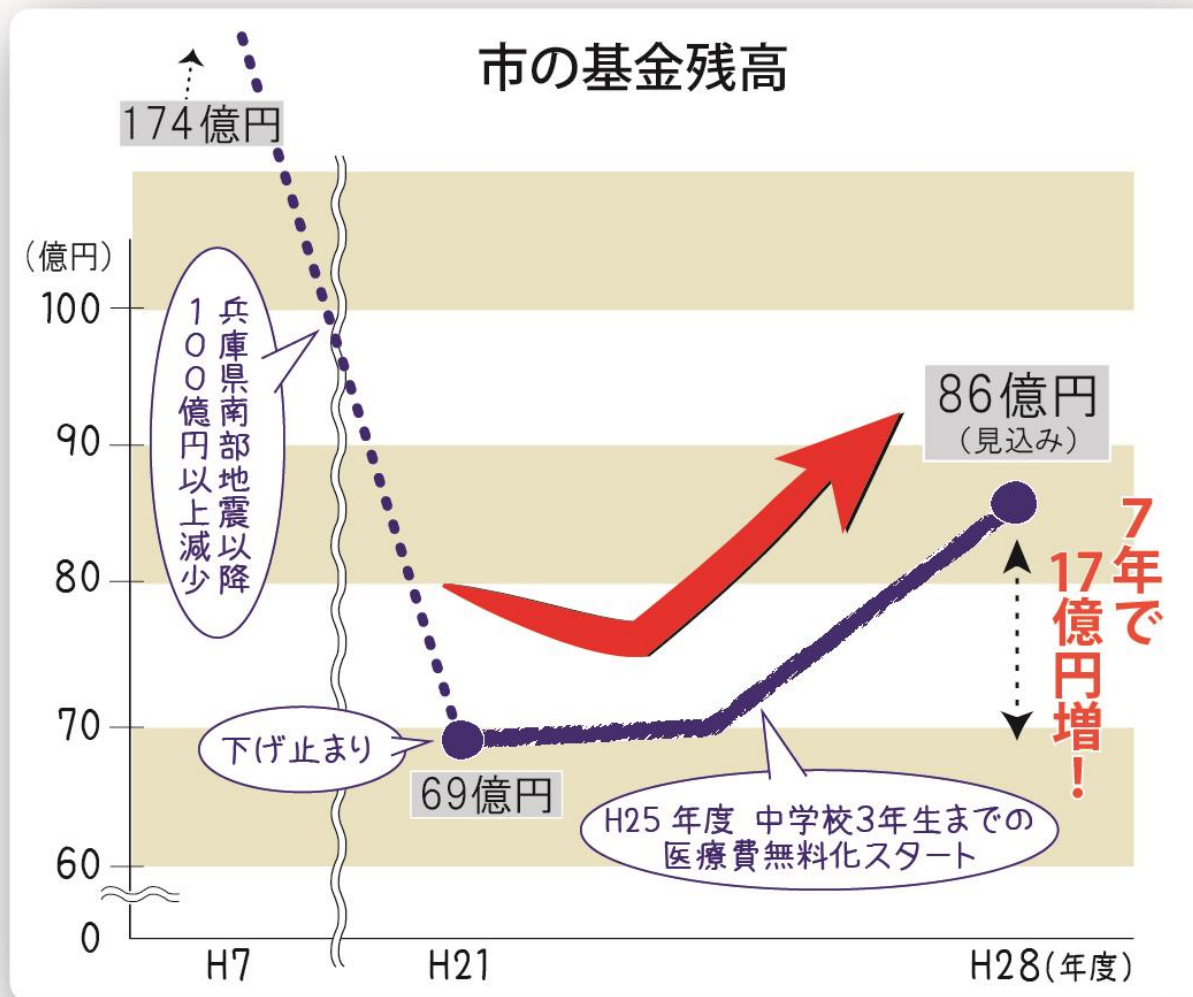
③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



市長としての思い

- ①障害者が暮らしやすい社会をつくる
のは行政の責任
- ②できることを見つけて、実際に始める
- ③福祉の充実をまちの発展につなげる

 全国に拡げる

全国手話言語市区長会の設立目的

1. 法律の早期制定

①「手話言語法」

②「情報・コミュニケーション法」

2. 条例制定市の拡大

3. 手話関連施策の充実

発起人（役員）

- | | |
|------|--------------------------|
| 会 長 | 田岡 克介(石狩市長) |
| 副会長 | 品川 萬里(郡山市長) |
| | 星野 信吾(富士見市長) |
| | 篠田 昭(新潟市長) |
| | 鈴木 健一(伊勢市長) |
| | 野村 興兒(萩市長) |
| | 岡崎 誠也(高知市長) |
| | <u>十屋 幸平(日向市長)</u> |
| 事務局長 | 泉 房穂(明石市長) |
| 顧 問 | 平井 伸治(鳥取県知事) |
| 相談役 | 尾形 武寿(日本財団理事長) |
| 相談役 | 石野 富志三郎
(全日本ろうあ連盟理事長) |

設立総会・フォーラム 平成28年6月8日



参加者 **407** 名

設立総会・フォーラム



出席 61 市長

入会状況

270 市区長

北海道	14	東京都	10	滋賀県	6	香川県	1
青森県	8	神奈川県	7	京都府	6	愛媛県	4
岩手県	3	新潟県	6	大阪府	13	高知県	7
宮城県	2	富山県	4	兵庫県	23	福岡県	4
秋田県	3	石川県	2	奈良県	3	佐賀県	5
山形県	5	福井県	1	和歌山県	3	長崎県	11
福島県	5	山梨県	5	鳥取県	4	熊本県	2
茨城県	4	長野県	5	島根県	3	大分県	5
栃木県	6	岐阜県	3	岡山県	4	宮崎県	1
群馬県	4	静岡県	6	広島県	2	鹿児島県	6
埼玉県	9	愛知県	6	山口県	7	沖縄県	7
千葉県	15	三重県	7	徳島県	3		

2016.12.28現在

全国手話言語市区長会 取組予定

- 自治体職員向けの手話合同研修の実施
- 手話に関する啓発行事(手話演劇祭の開催)
- 会員同士の情報交換 等

社会の「あたりまえ」を変える

障害者も暮らしやすくなるように、

社会全体の「あたりまえ」を

変えていきましょう！

「福祉を世の光に」

ともに頑張りましょう！